



## 2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月4日

上場会社名 山崎製パン株式会社  
 コード番号 2212 URL <http://www.yamazakipan.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯島 延浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 会田 正久  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

上場取引所 東  
 TEL 03-3864-3110

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	507,826	△3.1	9,868	△26.7	10,902	△26.2	4,899	△37.6
2019年12月期第2四半期	524,041	△1.0	13,462	△10.1	14,783	△6.3	7,848	△9.9

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 1,359百万円 (△87.3%) 2019年12月期第2四半期 10,701百万円 (△4.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	22.54	—
2019年12月期第2四半期	36.10	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	693,554	354,971	46.8
2019年12月期	728,149	358,416	44.9

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 324,252百万円 2019年12月期 327,253百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	—	—	20.00	20.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,031,000	△2.8	20,000	△19.4	22,200	△19.6	9,700	△30.0	44.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年12月期2Q	220,282,860 株	2019年12月期	220,282,860 株
-------------	---------------	-----------	---------------

② 期末自己株式数

2020年12月期2Q	2,891,597 株	2019年12月期	2,891,566 株
-------------	-------------	-----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年12月期2Q	217,391,290 株	2019年12月期2Q	217,391,482 株
-------------	---------------	-------------	---------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、第2四半期決算短信補足説明資料の6ページにセグメント別の売上高及び営業利益の予想を記載しております。

当社は、2020年8月7日(金)に機関投資家及び証券アナリスト向け四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	11
3. 補足情報	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年1月1日～2020年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が拡大し、政府の自粛要請や4月上旬の緊急事態宣言の発令により経済活動が制限されました。5月下旬には宣言が解除され持ち直しの動きが見られましたものの厳しい状況が続きました。

当業界におきましては、外出自粛や在宅勤務等を背景に、巣ごもり需要が高まり量販店やドラッグストアを中心に食パンや食卓ロールの売上が増加する一方で、コンビニエンスストア等では来店客数の減少により菓子パンやサンドイッチ、おにぎりなどが伸び悩みました。また、大型商業施設の休業や営業時間短縮の影響を受け、ベーカリーカフェの売上が低迷しました。緊急事態宣言が解除され自粛要請が緩和されましたものの、消費者の節約志向の強まりもあり厳しい経営環境が続きました。

このような情勢下にあります、当社グループは、わが国の食生活の基幹を担う製パン業としての社会的使命のもと、21世紀のヤマザキの経営方針に基づき、新型コロナウイルス感染症拡大の中で製品の安定供給を維持するため、出勤前の検温で37.2℃以上の発熱がある従業員は自宅待機とすることに加え、発熱がない場合でも重い倦怠感や味覚・嗅覚がない等の体調異常の自覚症状がある場合には自宅待機とし、この自宅待機者数を日々管理するとともに、WEB会議等を活用して事業所間の出張を制限するなど、科学的根拠に基づいた感染防止対策を実施しました。また、多人数による会食の禁止や感染の恐れのある施設を避けるなど、公衆衛生上の遵守事項を定めて徹底をはかりました。緊急事態宣言解除により自粛要請が緩和された後も感染防止対策を継続し、日次管理・週次管理により日常業務の着実な遂行に努めました。生産面におきましては、食パン需要の急増に対応するため、4月中旬から、休止していた大阪第一工場の食パンラインを再稼働し、安定供給に努めました。このような状況の中で、食パンにおいてはヤマザキの技術により科学的根拠の上に立った品質向上に取り組むとともに、「厳選100品」を中心とした主力製品にルヴァン種等を活用した品質向上をはかり、市場動向に即応して、高品質・高付加価値・高単価製品を開発する一方で値頃感のある製品を投入するなど、営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進しました。

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、改めてデイリーヤマザキの使命として、ヤマザキパンの営業部門の最前線にある小売事業であるコンビニエンスチェーン運営事業に取り組み、21世紀のヤマザキの進む道を導き照らす光となることを掲げ、日次管理・週次管理を導入して日々の仕事の精度を高めてまいりました。また、デイリーヤマザキの商品部と当社生産各部合同の週次商品施策・営業戦略小委員会等を通して当社グループ商品の充実をはかり、デイリーヤマザキ一店一店の課題に取り組むとともに、店舗改装を計画的に実施し、デイリーホットの導入や店舗レイアウトの改善などヤマザキらしい店舗づくりに取り組みました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は5,078億26百万円(対前年同期比96.9%)、営業利益は98億68百万円(対前年同期比73.3%)、経常利益は109億2百万円(対前年同期比73.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は48億99百万円(対前年同期比62.4%)となりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりコンビニエンスストアチェーンとの取引減少や休店等に伴うベーカリー等小売業の売上減少もあり減収減益となりました。

セグメント別の状況

## &lt;食品事業&gt;

食品事業の主要製品別の売上状況は次のとおりであります。

## ①食パン部門(売上高512億79百万円、対前年同期比101.8%)

食パンは、主力の「ロイヤルブレッド」が大きく伸長するとともに、「ダブルソフト」が堅調に推移しました。また、ヤマザキの技術により科学的根拠の上に立って品質を向上させた「超芳醇」シリーズが回復するとともに、ルヴァン種を使用し乳酸菌を配合した「ふんわり食パン」が伸長し、順調な売上となりました。

## ②菓子パン部門(売上高1,727億69百万円、対前年同期比95.7%)

菓子パンは、「ルヴァンバターロール」などの食卓ロールや、「塩バターフランス」などのハードロールが伸長しましたが、コンビニエンスストア向け製品の伸び悩みや㈱ヴィ・ド・フランスなどベーカリーの売上減もあり、前年同期の売上を下回りました。

## ③和菓子部門（売上高346億20百万円、対前年同期比101.7%）

和菓子は、消費期限延長により主力の串団子や大福、まんじゅう、どら焼きが伸長するとともに、新たな取組みであるチルド対応の「クリームたっぷり生どら焼」が寄与し、前年同期の売上を上回りました。

## ④洋菓子部門（売上高687億79百万円、対前年同期比102.7%）

洋菓子は、2個入り生ケーキが高品質・高付加価値・高単価製品の寄与もあり伸長するとともに、チルド対応の「レーズンサンド」が順調に推移し、コンビニエンスストア向け製品が大きく伸長するなど、好調な売上となりました。

## ⑤調理パン・米飯類部門（売上高718億50百万円、対前年同期比90.2%）

調理パン・米飯類は、調理パンにおいて「こだわりソースの焼きそばパン」や和紙包装のハンバーガーが好調でしたが、主要販路であるコンビニエンスストアにおいてサンドイッチやおにぎり等の販売が減少したこともあり、前年同期の売上を下回りました。

## ⑥製菓・米菓・その他商品類部門（売上高784億95百万円、対前年同期比97.2%）

製菓・米菓・その他商品類は、ヤマザキビスケット(株)の「エアリアル」や(株)東ハトの「ポテコ」などのスナックが伸長しましたが、(株)不二家においてコンビニエンスストアとの取引が減少したことや不二家(杭州)食品有限公司において第1四半期に工場が一時操業停止となったこともあり、前年同期の売上を下回りました。

以上の結果、食品事業の売上高は4,777億95百万円（対前年同期比97.1%）、営業利益は104億93百万円（対前年同期比78.5%）となりました。

## &lt;流通事業&gt;

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、在宅勤務等による来店客数の減少や休店、営業時間短縮の影響に加え、店舗数の減少もあり、営業総収入は234億20百万円（対前年同期比89.8%）、営業損失は19億87百万円（前年同期は10億43百万円の営業損失）となりました。

## &lt;その他事業&gt;

その他事業につきましては、売上高は66億10百万円（対前年同期比116.8%）、営業利益は10億83百万円（対前年同期比123.7%）となりました。

## (2)財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は6,935億54百万円で、前連結会計年度末に対して345億94百万円減少しました。流動資産は2,371億74百万円で、受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に対して246億65百万円減少しました。固定資産は4,563億79百万円で、投資有価証券の減少などにより、前連結会計年度末に対して99億29百万円減少しました。負債合計は3,385億82百万円で、支払手形及び買掛金等の支払債務の減少や借入金の返済により、前連結会計年度末に対して311億49百万円減少しました。純資産は3,549億71百万円で、その他有価証券評価差額金の減少などにより、前連結会計年度末に対して34億45百万円減少しました。

この結果、自己資本比率は46.8%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益98億37百万円に加え、減価償却費180億10百万円などにより383億24百万円のプラスとなりました。前年同期に対しては29億41百万円収入が増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより191億81百万円のマイナスとなりましたが、前年同期に対しては2億20百万円支出が減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済、配当金の支払などにより92億4百万円のマイナスとなりましたが、前年同期に対しては31億44百万円支出が減少しました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は1,158億51百万円となり、前連結会計年度末残高に対しては99億35百万円の増加となりました。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、緊急事態宣言が解除され経済活動は再開されましたものの、新型コロナウイルス感染症の影響が懸念され厳しい状況が続くものと思われま

すが、当業界におきましても、消費者の節約志向が更に強まり厳しい経営環境が続くことが予測されますが、当社グループは、引き続き科学的根拠に基づいた感染防止対策を徹底して、食生活の基幹を担う製パン業としての社会的使命を遂行するとともに、市場動向に応じて低価格製品を充実し、秋のキャンペーンを活用して取扱拡大をはかるなど、営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進してまいります。

2020年12月期通期(2020年1月1日～2020年12月31日)連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績も踏まえ、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が当期末まで継続するものと想定し、2020年2月14日付にて公表した連結業績予想を修正いたしました。

業績予想の修正の詳細につきましては、本日公表いたしました「2020年12月期第2四半期累計期間における業績予想値と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	111,112	120,641
受取手形及び売掛金	114,559	82,764
商品及び製品	12,178	12,185
仕掛品	653	1,048
原材料及び貯蔵品	10,978	9,683
その他	12,697	11,201
貸倒引当金	△342	△350
流動資産合計	261,839	237,174
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	386,532	388,189
減価償却累計額	△281,357	△284,457
建物及び構築物(純額)	105,175	103,732
機械装置及び運搬具	513,883	517,119
減価償却累計額	△425,345	△432,209
機械装置及び運搬具(純額)	88,538	84,910
工具、器具及び備品	35,475	36,453
減価償却累計額	△26,917	△27,639
工具、器具及び備品(純額)	8,557	8,813
土地	109,752	109,755
リース資産	10,496	10,271
減価償却累計額	△6,573	△6,265
リース資産(純額)	3,923	4,006
建設仮勘定	1,536	3,196
有形固定資産合計	317,483	314,414
無形固定資産		
のれん	13,658	12,935
その他	8,765	9,131
無形固定資産合計	22,424	22,066
投資その他の資産		
投資有価証券	72,361	65,078
長期貸付金	836	873
退職給付に係る資産	594	590
繰延税金資産	24,973	26,642
その他	30,479	29,585
貸倒引当金	△2,843	△2,870
投資その他の資産合計	126,401	119,899
固定資産合計	466,309	456,379
資産合計	728,149	693,554

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,805	67,796
短期借入金	49,293	49,621
リース債務	1,598	1,573
未払法人税等	6,817	6,489
未払費用	40,756	35,327
賞与引当金	4,437	4,494
販売促進引当金	1,117	905
店舗閉鎖損失引当金	0	-
資産除去債務	40	11
その他	41,204	31,870
流動負債合計	224,073	198,091
固定負債		
社債	90	-
長期借入金	22,904	19,053
リース債務	2,768	2,813
役員退職慰労引当金	3,818	3,910
環境対策引当金	20	2
退職給付に係る負債	104,646	103,223
資産除去債務	4,600	4,665
その他	6,809	6,821
固定負債合計	145,658	140,491
負債合計	369,732	338,582
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,014	11,014
資本剰余金	9,667	9,660
利益剰余金	296,642	297,194
自己株式	△5,241	△5,241
株主資本合計	312,082	312,627
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,652	23,553
繰延ヘッジ損益	-	1
土地再評価差額金	99	99
為替換算調整勘定	60	161
退職給付に係る調整累計額	△13,639	△12,190
その他の包括利益累計額合計	15,171	11,624
非支配株主持分	31,162	30,719
純資産合計	358,416	354,971
負債純資産合計	728,149	693,554

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	524,041	507,826
売上原価	337,020	329,607
売上総利益	187,021	178,218
販売費及び一般管理費	173,558	168,349
営業利益	13,462	9,868
営業外収益		
受取利息	45	57
受取配当金	680	663
固定資産賃貸収入	447	455
持分法による投資利益	57	86
補助金収入	214	-
雑収入	628	543
営業外収益合計	2,074	1,807
営業外費用		
支払利息	365	328
固定資産賃貸費用	145	168
雑損失	242	275
営業外費用合計	753	773
経常利益	14,783	10,902
特別利益		
固定資産売却益	54	53
助成金収入	-	56
その他	11	-
特別利益合計	65	109
特別損失		
固定資産除売却損	829	492
減損損失	342	478
業務委託特別負担金	295	-
その他	242	203
特別損失合計	1,708	1,174
税金等調整前四半期純利益	13,139	9,837
法人税等	5,080	4,851
四半期純利益	8,059	4,986
非支配株主に帰属する四半期純利益	211	86
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,848	4,899

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	8,059	4,986
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,470	△5,092
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	△1	14
退職給付に係る調整額	1,197	1,456
持分法適用会社に対する持分相当額	△24	△7
その他の包括利益合計	2,642	△3,626
四半期包括利益	10,701	1,359
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,546	1,352
非支配株主に係る四半期包括利益	155	6

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	13,139	9,837
減価償却費	17,540	18,010
減損損失	342	478
業務委託特別負担金	295	—
のれん償却額	608	767
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△42	34
賞与引当金の増減額 (△は減少)	66	57
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	284	685
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△45	91
受取利息及び受取配当金	△725	△721
持分法適用会社からの配当金の受取額	86	86
支払利息	365	328
補助金収入	△214	—
助成金収入	—	△56
持分法による投資損益 (△は益)	△57	△86
固定資産除売却損益 (△は益)	774	439
投資有価証券評価損益 (△は益)	104	18
売上債権の増減額 (△は増加)	11,220	32,583
たな卸資産の増減額 (△は増加)	264	893
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,581	△10,624
未払費用の増減額 (△は減少)	△2,267	△5,438
未払消費税等の増減額 (△は減少)	2,234	△3,223
その他	△0	△1,046
小計	38,394	43,115
利息及び配当金の受取額	725	722
利息の支払額	△359	△329
法人税等の支払額	△3,297	△5,190
その他	△81	7
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,382	38,324
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△313	350
有形固定資産の取得による支出	△17,538	△18,197
有形固定資産の売却による収入	59	102
無形固定資産の取得による支出	△949	△1,211
投資有価証券の取得による支出	△282	△75
投資有価証券の売却による収入	64	6
貸付けによる支出	—	△81
貸付金の回収による収入	26	34
その他	△468	△109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,401	△19,181

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	338	486
リース債務の返済による支出	△979	△880
長期借入れによる収入	1,300	1,200
長期借入金の返済による支出	△8,166	△5,210
社債の償還による支出	△70	△70
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△4,337	△4,334
非支配株主への配当金の支払額	△433	△300
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△93
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,348	△9,204
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29	△3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,602	9,935
現金及び現金同等物の期首残高	106,423	105,916
現金及び現金同等物の四半期末残高	110,025	115,851

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症に伴う政府による緊急事態宣言や各自治体からの休業要請等を受け、コンビニエンスストアやベーカリーなど小売業においては来店客数減少の影響を受け売上が伸び悩みました。

緊急事態宣言が解除された後は徐々に回復傾向にありますが、新型コロナウイルス感染症の影響は、当連結会計年度末までは継続するものとの仮定に基づき、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性にかかる会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響は不確実性があり、将来における財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	492,292	26,091	5,657	524,041	—	524,041
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,202	3,107	18,000	25,310	△25,310	—
計	496,495	29,198	23,658	549,351	△25,310	524,041
セグメント利益又は損失(△)	13,365	△1,043	875	13,197	265	13,462

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額265百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	477,795	23,420	6,610	507,826	—	507,826
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,310	2,846	17,901	25,059	△25,059	—
計	482,106	26,267	24,512	532,885	△25,059	507,826
セグメント利益又は損失(△)	10,493	△1,987	1,083	9,588	280	9,868

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額280百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## (1) 連結販売実績

(単位: 百万円)

セグメント名称	区 分	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)		比 較 増 減	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	前年同期比
食品事業	食 パ ン	50,376	9.6%	51,279	10.1%	903	101.8%
	菓 子 パ ン	180,482	34.4	172,769	34.0	△ 7,713	95.7
	和 菓 子	34,049	6.5	34,620	6.8	571	101.7
	洋 菓 子	66,997	12.8	68,779	13.5	1,781	102.7
	調理パン・米飯類	79,615	15.2	71,850	14.2	△ 7,765	90.2
	製菓・米菓・その他商品類	80,770	15.4	78,495	15.5	△ 2,275	97.2
	食 品 事 業 計	492,292	93.9	477,795	94.1	△14,497	97.1
	流 通 事 業	26,091	5.0	23,420	4.6	△ 2,670	89.8
	そ の 他 事 業	5,657	1.1	6,610	1.3	953	116.8
	合 計	524,041	100.0	507,826	100.0	△16,215	96.9

## (2) 主要子会社実績

(単位: 百万円)

	売 上 高				営 業 利 益			
	前第2四半期	当第2四半期	増 減 額	増 減 率	前第2四半期	当第2四半期	増 減 額	増 減 率
(株)不二家〈連結〉	50,348	46,984	△ 3,364	△ 6.7%	519	287	△ 232	△ 44.7%
(株)サンデリカ	57,578	53,323	△ 4,254	△ 7.4	1,161	△ 364	△ 1,525	—
ヤマザキビスケット(株)	15,665	16,628	963	6.2	208	175	△ 32	△ 15.7
(株)東ハト	13,020	13,630	609	4.7	490	709	218	44.7
(株)ヴィ・ド・フランス	16,825	11,566	△ 5,258	△ 31.3	299	△ 1,763	△ 2,063	—

## (3)2020年12月期第2四半期の単体業績 (2020年1月1日~2020年6月30日)

## ①単体経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	367,820	△ 2.2	10,454	2.6	12,203	△ 1.8	7,892	3.8
2019年12月期第2四半期	376,221	△ 0.1	10,193	△ 9.1	12,422	△ 6.4	7,601	△ 9.4

## ②単体財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
2020年12月期第2四半期	523,544	302,665
2019年12月期	543,425	304,167

(注) 単体業績数値は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

## (4)単体販売実績

(単位:百万円)

期別 品種別	前第2四半期 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)		当第2四半期 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
食パン	50,940	13.5%	51,880	14.1%	940	101.8%
菓子パン	169,159	45.0	162,458	44.2	△ 6,701	96.0
和菓子	34,105	9.1	34,684	9.4	579	101.7
洋菓子	50,160	13.3	54,255	14.8	4,095	108.2
調理パン・米飯類	26,832	7.1	24,263	6.6	△ 2,569	90.4
製菓・米菓・その他商品類	22,343	5.9	20,531	5.6	△ 1,812	91.9
小計	353,541	93.9	348,073	94.7	△ 5,467	98.5
デイリーヤマザキ事業	29,198	7.8	26,267	7.1	△ 2,930	90.0
内部消去	△ 6,518	△ 1.7	△ 6,520	△ 1.8	△ 2	—
合計	376,221	100.0	367,820	100.0	△ 8,400	97.8